

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 341 (通算 672 回)

2017 年 3 月 7 日 (火)

何が問題か、論点の明確化——

## 高大接続・大学入試の再構築と新パラダイム

～ 記述式は個別試験で／共通テストはベース継承 ～

- ※ 最新動向と論点整理／新共通テストの検討状況／現場の声／高大接続・入試改革の行方
- ※ センター試験の実際と特徴／共通試験としての課題／選抜試験と集団調査の違い／試験文化
- ※ 不安と期待／「日本の高校」の提起／高校教育の質保証／多面評価への期待／高大接続策
- ※ センター試験の誕生と変容／東北大の入試改革／入試制度改革の論理／個別大学の入試戦略

### ● 講師陣 ●

中根 正義氏 / 毎日新聞社「教育と新聞」推進本部 大学センター 大学センター長  
 大塚 雄作氏 / (独) 大学入試センター 試験・研究統括官  
 長塚 篤夫氏 / 順天中学校・高等学校 校長  
 日本私立中学高等学校連合会 常任理事  
 倉元 直樹氏 / 東北大学高度教養教育・学生支援機構 教授

2017 年 3 月 7 日 (火) 剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)



日 時：2017 年 3 月 7 日 (火) 10:00～16:50  
 会 場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362  
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷  
 駅」麹町口より徒歩 10 分

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、  
 FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660  
 口座名<(株)地域科学研究会>  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となり  
 ますので、必ずご確認ください。  
 参加費：A. ご一名(資料代込) 41,000 円(税込)  
 B. メディア参加(資料・音声 CD 送付)  
 42,000 円(送料、税込)  
 C. 高等教育同人(☆) 21,000 円(税込)

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4ライオンズ第 2-106  
 Tel:03(3234)1231 Fax:03(3234)4993 〒102-0082  
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 HP: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、  
 開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。  
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、  
 特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。  
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪い  
 ときには代理の方がご出席ください。  
 ☆高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認  
 願います。

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 341

2017 年 月 日

### 高大接続・大学入試の再構築と新パラダイム

(□に✓印を)  当日参加  メディア参加

勤務先 \_\_\_\_\_

支払方法  郵便振替  当日払い  銀行振込  
必要書類  請求書  見積書

所在地 〒 \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:00	<p>□ 高大接続と新共通テストの検討状況と今後の行方                      ～最新動向と論点整理／入試の原則と再構築～</p> <p style="text-align: right;">毎日新聞社 中根 正義</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高大接続の動向について                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校教育の改革</li> <li>(2) 大学教育の改革</li> <li>(3) 新共通テストの改革</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>2. 新共通テストを巡る学校現場への調査から                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 高等学校の反応</li> <li>(2) 大学の反応</li> <li>(3) 「高大」の意識のずれ</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>3. 高大接続改革の先にあるものと教育機関が取り組む課題                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 臨教審答申、遠山プラン、教育再生実行会議、そして……</li> <li>(2) OECD 提言との関連から</li> <li>(3) 教育改革と人材育成</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
11:10 } 13:00	<p>□ 大学入試センター試験の実際と共通試験としての課題                      ～わが国に構築された試験文化の是非を問う～</p> <p style="text-align: right;">大学入試センター 大塚 雄作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試センター試験の実際と特徴                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) センター試験の実施主体は大学である</li> <li>(2) センター試験の大学入学者選抜における役割とは</li> <li>(3) 「大規模・共通一斉・選抜試験」という特徴</li> <li>(4) センター試験問題の作成過程と点検体制の概要</li> </ol> </li> <li>2. センター試験の共通試験としての課題                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大規模試験としての制約をどう乗り越えるか</li> <li>(2) 受験生の学力多様化にどう対応するか</li> <li>(3) 良質な試験実施に必要な日程・コストをどう確保するか</li> </ol> </li> <li>3. 大学入試のあり方を問う際の基本的留意点                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 測定の目的によって適切な測定手法は異なる</li> <li>(2) 選抜試験と集団調査の違いを区別する</li> <li>(3) いちばん大切なことは評価してはならない</li> <li>(4) 高大接続における共通試験の位置づけをどう捉えるか</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
14:00 } 15:10	<p>□ 高大接続・大学入試改革への不安と期待                      ～多彩な高校教育の現場から／新学習指導要領の運用～</p> <p style="text-align: right;">順天中学校・高等学校 長塚 篤夫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「日本の高校」における課題                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「日本の高校」(T・ローレン著)の成功と代償</li> <li>(2) 高校生の生活意識等にみる国際比較</li> <li>(3) 文科省の高校教育改革の行き詰まり</li> </ol> </li> <li>2. 高校教育に求められる質保証                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 階層化の中の多様性と共通性のジレンマ</li> <li>(2) 高校教育における二項対立の様相</li> <li>(3) 学力3要素で規定する「真の学力」</li> </ol> </li> <li>3. 社会から求められる資質・能力                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 産業界の求人像は課題解決型人材へ</li> <li>(2) 汎用的資質・能力(コンピテンシー)への転換</li> <li>(3) 新学習指導要領における資質・能力の育成</li> </ol> </li> <li>4. 大学入試の多面的評価への期待                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) テスト学力の達成度評価の実現可能性</li> <li>(2) 調査書や自己申告書等の改善方策</li> <li>(3) 生徒の諸活動や資質・能力評価の在り方</li> </ol> </li> <li>5. 新たな高大接続の可能性を探る                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) SSHやSGH等との高大連携策</li> <li>(2) IBディプロマ入学の世界的な拡大</li> <li>(3) AP (Advanced Placement Program) の活用</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
15:20 } 16:50	<p>□ 大学入試制度改革の論理と個別大学の入試戦略                      ～「記述式」問題に関わる騒動を巡って～</p> <p style="text-align: right;">東北大学 倉元 直樹</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試改革の季節                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) キックオフ</li> <li>(2) 高大接続答申</li> <li>(3) 記述式問題：現時点における論点</li> </ol> </li> <li>2. センター試験の誕生・変容と東北大学の入試                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) センター試験の実像</li> <li>(2) 共通1次からセンター試験へ</li> <li>(3) 東北大学の危機と脱出戦略</li> <li>(4) センター試験の変容から廃止論へ</li> </ol> </li> <li>3. 大学入試制度改革の論理と個別大学の入試戦略                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学入試制度批判の定番メニュー</li> <li>(2) 大学入試制度の宿命</li> <li>(3) 国立大学における個別学力試験の実像</li> <li>(4) 全国学力調査が果たした役割</li> <li>(5) 個別大学の入試改革を占う</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>